

開発者・技術者・技術翻訳者のための

英語図面の作成法と国際準拠化

—国際規格に準拠した製図法とワールドワイドで通用する技術英語の表現法

日時 2019年 **10月3日(木)** 10:00~17:00
(9:30 受付開始、休憩 12:30~13:30)

主催  日刊工業新聞社

会場 日刊工業新聞社 東京本社 セミナールーム
東京都中央区日本橋小網町 14-1 (住生日本橋小網町ビル)

受講料 **40,000円**(資料含む、消費税別)
*同時複数人数お申し込みの場合2人目から36,000円



日刊工業新聞社 東京本社 セミナールーム

東京都中央区日本橋小網町14-1 (住生日本橋小網町ビル)

【アクセス】

東京メトロ日比谷線『人形町駅』A2出口 徒歩3分、都営浅草線『人形町駅』A6出口 徒歩3分

東京メトロ半蔵門線『水天宮前駅』8番出口 徒歩4分

※会場には受講者用の駐車場がありません。必ず最寄りの公共交通機関でご来場ください。

※講義の録音・録画は固くお断りいたします。

●申込方法

申込書を郵送又はFAXにて下記にお申し込みください。ホームページからお申し込みできます。(http://corp.nikkan.co.jp/seminars/) 受講料は銀行振込で受講票及び請求書が到着次第、開催日1週間前までにお支払いください。

なお、キャンセルにつきましては開催日1週間前までの受付とさせていただきます。1週間前までにご連絡がない場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。振込手数料は貴社でご負担願います。

口座名義	りそな銀行	東京営業部	当座	656007
株日刊工業新聞社	三井住友銀行	神田支店	当座	1023771
	みずほ銀行	九段支店	当座	21049
	三菱UFJ銀行	神保町支店	当座	9000445

●申込先 日刊工業新聞社 総合事務局 教育事業部 技術セミナー係

〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1 (住生日本橋小網町ビル)
TEL 03 (5644) 7222 FAX 03 (5644) 7215
e-mail : j-seminar@media.nikkan.co.jp

受講申込書

10/3 英語図面

お申し込みは **FAX 03-5644-7215**

■受講料：40,000円 (資料含む、消費税別) *同時複数人数お申し込みの場合2人目から36,000円

※振込手数料は貴社にてご負担ください。

会社名	フリガナ		業種
	フリガナ		
氏名	フリガナ	部署・役職	TEL
	〒		
所在地	E-mail :		FAX
	※今後、E-mailによるご案内を希望しない方は チェックをしてください。 <input type="checkbox"/>		

※お申込み受付後、受講票ならびに請求書をお送りいたします。

No.190214

個人情報の取り扱いについて

ご登録いただいた情報は日刊工業新聞社が細心の注意を払い、展示会・セミナー・サービス等、各種ご案内を送らせていただくことを目的に利用させていただきます。
なお、宛先変更・配信停止をご希望の際は右記までご連絡ください。【ご連絡先】日刊工業サービスセンター 情報事業部 nkmail01@nikkansc.co.jp

開催主旨

モノづくりのグローバル化に伴い英語図面を作成する機会が格段に増えました。その一方で、「古いJIS規格での作図のままに国際的な作図に適合しない」「辞書も的確な英語用語・英語例文も得られず、国際的に通じるかが不安」「技術者の英文表記がバラバラで社内標準化ができていない」といった課題が聞かれます。

本講座は、講師の海外での開発経験をもとに国際規格に即した英語図面の全体像、作図の要点および注記の書き方までを解説。併せて、社内標準化を進めるための具体的なプロセスを紹介します。

ASME (米国規格) をもとにし、ISO・JIS規格および米国企業の実務図面を参照し、貴社図面と比較されて、国際的に通じる図面作成と図面英語を見直す良い機会です。研究者・開発者・設計者・製造技術者・技術翻訳者・海外営業に携わる方の参加をおすすめします。

本講座を通して社内標準のデータベースライブラリの作成、海外企業との協業体制、そして技術者教育のシステム拡充と今後の活動につなげましょう！

講師

AI (エーアイ) 代表 **板谷 孝雄** 氏

【略歴】 日本アイ・ビー・エムに入社後、生産技術者として数多くのコンピュータ製造に従事。この間、米国IBMゲレンデル研究所での製品開発や、タイの新規工場の設立プロジェクトに参加。英語図面に関する著書、米国規格翻訳、セミナー講師、企業様技術支援の経験も多数。ASME (米国機械学会) 会員。

プログラム

I 図面の基礎

米国規格での表記、図面の技術管理方法を実務的に解説。

- 1.1 技術変更資料
- 1.2 技術管理用語
- 1.3 図面の種類
- 1.4 米国規格
参考文献 (ASME/SAE/IEEE)
- 1.5 図面の様式 (ASME)
- 1.6 文字
- 1.7 線の規約
- 1.8 作図

II 寸法および公差記入法

図面での英語表記、米国規格ASMEを中心にISO・JISとの違いを解説。

- 2.1 基本原則
- 2.2 測定単位
- 2.3 寸法記入法の種類
- 2.4 寸法の記入法
- 2.5 形体の寸法記入法
- 2.6 一般公差記入法
- 2.7 記号法
- 2.8 作図例

III 図面の英語表記の規則

注記の書き方、部品名称の付け方の規則を解説。

- 3.1 図面の注記
- 3.2 表題

IV 注記の英語表現例

米国規格での推奨文例および米国企業での実務英語例文を多数参照することで正確・明確・簡潔な英語例文を体得します。

- 4.1 材料・市販品
- 4.2 成形加工
- 4.3 板金加工
- 4.4 溶接・熱処理
- 4.5 表面処理
- 4.6 ケーブル組立・配線
- 4.7 ラベル
- 4.8 組立
- 4.9 検査・安全
- 4.10 技術承認と文書管理 ほか

V 米国社の図面サンプルの説明

米国企業の図面サンプルを解説。サンプル図面を通じて自社の図面仕様と比較します。

(※8~10名ほどのグループに分かれて解説)

VI 英語図面の社内体制づくり